

この一覧表は，年間指導計画の作成に必要な下記の内容について記載しています。生徒の学習状況に合わせて，年間指導計画を作成する際にお役立てください。

①分野

「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の分類を示しています。

領域

「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」の分類を示しています。

②題材名

教科書のページ数，題材名を掲載しています。

③学習活動

各題材の学習活動の流れを示しています。

④目標

各題材の目標を記載しています。教科書掲載の目標と同じものです。

⑤観点別評価規準例

表現中心の題材では3観点，6項目の評価規準例を，鑑賞中心の題材では3観点，3項目の評価規準例を掲載しています。

記載しているのはそれぞれ「概ね満足できる状況」(B)の評価規準です。省略した表記はそれぞれ次のとおりです。

(知) = 「知識・技能」の知識に関する評価規準

(技) = 「知識・技能」の技能に関する評価規準

(発) = 「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準

(鑑) = 「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準

(態表) = 表現の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

(態鑑) = 鑑賞の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

⑥学習指導要領との関連

平成30年告示の学習指導要領との関連を示しています。

分野 領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例						学習指導要領との関連	
				知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		※【共通事項】(1)アイは、以下の全 の題材で育成する資質・能力である。	
				知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)	A表現	B鑑賞
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 絵画・彫刻 表現中心	P.8~9 鉛筆の可能性	○鉛筆の豊かな表現に関心をもち、鉛筆ならではの表現や 味わいなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や構図などの構想を練る。 ○鉛筆の特性を生かし、線の質感や明暗などを工夫して制 作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、造形的なよさや美しさを感じ取る とともに、表現の独自性や工夫について考え、話し合う。	鉛筆による表現の豊かさを感じ取り、鉛筆の特性を生かして あらかず。	鉛筆の線の質感や明暗などが 感情にもたらす効果や、造形的 な特徴などをもとに、鉛筆であ らわした作品を、全体のイメージ や作風などで捉えることを理解 している。	主題に合わせて鉛筆による表 現を追求し、個性を生かして創 造的にあらわしている。	自然や自己、社会などを深く見 つめ感じ取ったことや考えたこと から独創的な主題を生成し、タ ッチや質感など、鉛筆による豊 かな表現と効果などについて考 えながら、個性を生かして創造 的な表現の構想を練っている。	鉛筆であらわした作品の造形的 なよさや美しさを感じ取り、作 者の主張、作品と時代や社会と の関わりなどについて考え、見 方や感じ方を深めている。	主体的に自然や自己、社会な どを深く見詰め感じ取ったこと や考えたことなどから主題を 生成し、鉛筆ならではの表現 の創造的な諸活動に取り組も うとしている。	主体的に鉛筆であらわした作品 の造形的なよさや美しさを感じ 取り、作者の主張、作品と時代 や社会との関わりなどについて 考えながら、鑑賞の創造的な諸 活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア(ア)イ(ア)

「美術3」 題材内容一覧、観点別評価規準例

内容解説資料

分野	領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例					学習指導要領との関連		
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞
					知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)		
絵画・彫刻	表現中心	P.8~9 鉛筆の可能性	○鉛筆の豊かな表現に関心を持ち、鉛筆ならではの表現や味わいなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や構図などの構想を練る。 ○鉛筆の特性を生かし、線の質感や明暗などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、表現の独自性や工夫について考え、話し合う。	鉛筆による表現の豊かさを感じ取り、鉛筆の特性を生かしてあらわす。	鉛筆の線の質感や明暗などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、鉛筆であらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	主題に合わせて鉛筆による表現を追求し、個性を生かして創造的にあらわしている。	自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、タッチや質感など、鉛筆による豊かな表現と効果などについて考えながら、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。	鉛筆であらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、鉛筆ならではの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	主体的に鉛筆であらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア(ア)イ(ア)
	鑑賞中心	P.10~11 [作家の生涯と作品] フリーダ・カーロ	○苦難の中で自画像を多く描き、数々の個性的な作品を生み出したフリーダ・カーロの生涯と作品に関心を持ち、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考える。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。	カーロの生涯や作品を知り、作品に込められた思いや表現の工夫を感じ取る。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、カーロの作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			カーロの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情、作品と自己との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的にカーロの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情、作品と自己との関わりなどについて考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)イ(ア)	
	鑑賞中心	P.12~15 [比べて鑑賞する] 俯瞰で描く	○京都の町を俯瞰で描いた作品と、その影響を受けて描かれた現代の作品を比べて鑑賞し、違いや共通点などを感じ取るとともに、作品と時代や社会との関わりなどについて考える。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。	町を俯瞰で描いた作品を比べて鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、俯瞰で描いた作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。			二つの作品の比較を通して、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作品と時代や社会との関わりや美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めている。	二つの作品を比較し、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、作品と時代や社会との関わりや美術文化の継承、発展、創造することの意義について考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)イ(ア)	
	表現中心	P.16~17 ものからの問いかけ	○使われなくなったものに新しい意味を与え作品にあらわすことに関心を持ち、身の回りのものが果たしてきた役割や、ものや自己、社会との関係などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成する。 ○主題をもとに、材料や構成、形、色彩などの構想を練る。 ○あらわしたいイメージをもとに、材料などの特性を生かし、表現方法を工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、表現の独自性や工夫、作者の主張について考え、話し合う。	身の回りの使われなくなったものに新しい意味を与え、見る者に考えさせる作品をつくる。	使われなくなった身の回りのものに新しい意味を与えてつくった作品の、形や色彩、材料や構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	主題に合わせて、材料の組み合わせなどの表現方法を追求し、個性を生かして創造的にあらわしている。	身の回りのものが果たしてきた役割や、ものや自己、社会との関係などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、形や色彩の効果、材料とするものの構成などについて考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。	使われなくなったものに新しい意味を与えてつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	身の回りのものが果たしてきた役割や、ものや自己、社会との関係などを深く見つめ、主体的に感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	主体的に使われなくなったものに新しい意味を与えてつくられた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)イ(ア)	(1)ア(ア)イ(ア)
	鑑賞中心	P.18~19 自然との対話	○自然の力や場所の特徴を生かした作品に関心を持ち、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その場所の歴史や特徴を生かした作品の作者の主張や、時代や社会の関わりについて考える。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。	自然の力や場所の特徴を生かした作品を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取る。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、自然の力や場所の特徴を生かした作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。			自然の力や場所の特徴を生かした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりや、国際理解に果たす美術の役割について考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に自然の力や場所の特徴を生かした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりや、国際理解に果たす美術の役割について考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)イ(ア)	
デザイン	鑑賞中心	P.20~21 世界的美術館と出会う	○世界的美術館の建築に関心を持ち、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、美術館の建築とそれがつくられた時代や、その土地の人々の思いとの関わり、美術館の役割や意義について考える。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。	世界的美術館について知り、その役割や建築の工夫を感じ取る。	色彩、光などが感情にもたらす効果や、建物の構造などの造形的な特徴などをもとに、世界的美術館の建築を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。			世界的美術館の建築の目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図、建築と時代や社会との関わりなどについて考えるとともに、諸外国の文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、国際理解に果たす美術の役割や、美術文化を継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に世界的美術館の建築の目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図、建築と時代や社会との関わりなどについて考えるとともに、諸外国の文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、国際理解に果たす美術の役割や、美術文化を継承、発展、創造することの意義について考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)イ(ア)	
	鑑賞中心	P.22~23 ウェブデザインを考える	○ウェブデザインに関心を持ち、コンピュータやスマートフォンの特性を生かしながら、伝える内容やあらわしたいイメージに応じてつくられた作品のデザインの工夫を感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方や感じ方を深める。	さまざまな作品を鑑賞し、伝える内容やあらわしたいイメージに応じたデザインの工夫を感じ取る。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、ウェブデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			ウェブデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わり、国際理解に果たす美術の役割について考え、見方や感じ方を深めている。	ウェブデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、主体的に作者の主張、作品と時代や社会との関わり、国際理解に果たす美術の役割について考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)イ(ア)	
	表現中心	P.24~25 本をデザインする	○本のデザインに関心を持ち、伝えたい内容や読み手について考えたことなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、用紙や製本方法、装丁、レイアウトなどの構想を練る。 ○あらわしたい内容をもとに、形や色彩などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、表現の独自性や工夫、作者の主張について考え、話し合う。	伝えたい内容に合わせて造本やレイアウト、書体などを工夫し、本をデザインする。	用紙や製本方法、装丁、レイアウト、書体などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、本のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	主題に合わせて、用紙の生かし方や印刷の方法などの表現方法を追求し、個性を生かして創造的にあらわしている。	伝えたい内容や本の読み手について考えたことなどから独創的な主題を生成し、デザインの社会的な役割について考察して、用紙や製本方法、装丁、レイアウト、書体などを工夫し、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。	本のデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に本のデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作品と時代や社会との関わりなどについて考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	(2)ア(ア)イ(ア)	(1)ア(ア)イ(ア)	

※【共通事項】(1)アイは、以下の全ての題材で育成する資質・能力である。

「美術3」 題材内容一覧, 観点別評価規準例

内容解説資料

分野	領域	題材名	学習活動	目標	観点別評価規準例						学習指導要領との関連	
					知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		※【共通事項】(1)アイは、以下の全の題材で育成する資質・能力である。	
					知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)	A表現	B鑑賞
映像メディア表現	表現中心	P.26～27 演出して撮る	○人物を演出して撮影することに関心をもち、写真ならではの効果を生かしながら、身の回りの対象や事象、社会などを深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、構図や視点、光、色彩などの構想を練る。 ○カメラなどの用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、表現の独自性や工夫について考え、話し合う。	あらわしたいテーマにもとづいて構成を工夫し、人物を演出して写真を撮影する。	光や色彩、構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもち、人物を演出して撮影した作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	主題に合わせて写真ならではの表現方法を追求し、個性を生かして創造的にあらわしている。	写真表現の特性を生かしながら、身の回りの対象や事象、社会などを深く見つめた感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性や効果について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。	人物を演出して撮影した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	身の回りの対象や事象、社会などを深く見詰め、主体的に写真ならではの効果を生かしてあらわす表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	主体的に人物を演出して撮影した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	(3)ア(ア)イ(ア)	(1)ア(ア)イ(ア)
	鑑賞中心	P.28～29 映像を体感する	○空間を生かした映像作品を鑑賞し、作者の発想や構想の独自性と表現の工夫を感じ取るとともに、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考える。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方や感じ方を深める。	空間を生かした映像作品を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取る。	形や色彩、光、動きなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもち、空間を生かした映像作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。			空間を生かした映像作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考えるとともに、日本及び諸外国の美術作品から文化の価値を感じ取り、美術文化を発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めている。		主体的に空間を生かした映像作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考えるとともに、日本及び諸外国の美術作品から文化の価値を感じ取り、美術文化を発展、創造することの意義について考えながら、鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア)イ(ア)